

プロフェッショナリズム3

【単位数:0.5単位, 授業7コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

宮田靖志 教授(特任)(地域総合診療医学寄附講座)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-b, I-2-b, I-3-b, I-4-b, I-5-b, I-6-b, I-7-b, I-8-b, I-11-b, I-12-b, I-13-b, I-14-b, I-15-b)

- ① コンピテンスである「Iプロフェッショナリズム(医師としての価値観・態度・姿勢, 生涯学習・自己啓発・自己管理, チーム医療・医療安全)」の理解を深め, 医学生としての日常の学習, 生活において3学年次に応じたプロフェッショナリズムを実践できるようになる。
- ② プロフェッショナリズムとは, 医療者, 医学生として身に付けておくべき最低限の能力と, 医療者, 医学生として常に高みを目指す姿勢を保つ向上心的目標の2つがある。その両方の基本的概念を理解し, それらを日々の学生生活で実践することは具体的にどのようなことかを自身で考え, 実践できるようになる。
- ③ 臨床実践には様々な倫理的課題が存在するが, それについて自身が深く考え, 同僚と意見交換し, 患者・医療者にとって最善の医療実践をすることが重要である。しかし, 実際にはこのことは非常に難しい課題であり, ときに倫理的課題は不適切に処理されることさえある。倫理的課題に気づき, 課題解消のための思考を深め, 自身の考えを他者と意見交換し, チームとしての課題解消につなげることができるようになることは, プロフェッショナリズム溢れる医療者として必須のものである。このための様々な技能の基礎を理解する。
- ④ 患者とは何か, 病気とは何かを包括的な視点から理解し, 医療を一人の人間とその家族及び周囲の状況からなる物語としてとらえることができこそ全人的な医療実践が可能となる。このことの基礎を修得する。
- ⑤ 医療実践の最重要課題の一つである患者安全について, その概念を理解し, 実践の基本を修得する。

(2) 学修目標

- ① 患者安全の基本概念と重要性を説明できる。
- ② 医療安全における代表的なリスク要因を理解し, 具体例を挙げられる。
- ③ 医療事故防止のための基本的な考え方と実践を説明できる。
- ④ 医学生として求められる患者安全行動を自分の言葉で説明できる。
- ⑤ 臨床倫理的課題に気づくことができる。
- ⑥ 臨床倫理の4原則について理解できる。
- ⑦ 臨床の倫理的課題解消のための思考プロセスを明確に辿ることができる。
- ⑧ 臨床の倫理的課題解消のための思考を同僚と意見交換し, 他者の考えにも深く考えを巡らせることができる。
- ⑨ Jonsenの臨床倫理4分割を理解し, 活用できる。
- ⑩ 医療における物語の概念を理解することができる。
- ⑪ 患者を全人的に理解することの意味を理解できる。
- ⑫ 患者の物語を創造できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	記述式及び多肢選択問題
レポート	○	30%	授業中(又は, 前・後)に課される3つの課題。1課題に10点を充てる。
態度	○	—	態度不良の場合は, 総合成績から10点を限度に減点をする。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験で合格基準に達しないものは、定期試験に準ずる再試験を実施する。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

レポート(ワークシート)の内容については、授業中に発表し、教員からのコメントを受け、自身の考えを深められるようにする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ABC of 医療プロフェッショナリズム	Coope, N著 宮田靖志 監訳	羊土社	プロフェッショナリズムの概念から現代の医療現場での課題まで、広くかつ簡潔に解説されている。
日常診療の中で学ぶプロフェッショナリズム	Levinson, L著 宮田靖志 監訳	カイ書林	日常臨床でよく遭遇する具体的プロフェッショナリズム事項について、その対応が書かれている実践的な内容である。
白衣のポケットの中 医師のプロフェッショナリズムを考える8	宮崎 仁, 尾藤誠司, 大生定義 編	医学書院	プロフェッショナリズムの概念、具体的事例について分かりやすく記載されている。
臨床倫理入門	日本臨床倫理学会監修 其岡真子著	ヘルス出版	臨床倫理の基本的な概念が分かりやすく解説されている。
医療の倫理ジレンマ	バーナード・ロウ	西村書店	臨床における様々な具体的倫理事項を取り上げ、その解消のための考え方を詳細に説明している。
文献 Narrative-Based Medicine (物語に基づく医療), Narrative Medicine (ナラティブ・メディシン) In 新・総合診療医学 家庭医療学編 第2版 P107-118	宮田靖志	カイ書林	医療における物語についての基本的な考え方を詳細に解説している。
患者安全・医療安全 実践ハンドブック	一般社団法人 医療安全全国共同行動 技術支援部会編	メディカルサイエンスインターナショナル	日本の現場で役立つ実践的な知識・事例分析が多く収載されたハンドブック。初学者が具体的な安全対策の考え方を理解するのに向く。
医療安全ワークブック 第5版	川村 治子	医学書院	必須の医療安全知識・対策をコンパクトにまとめた実践的ワークブック。問題形式やケーススタディを通じて学習しやすい。

6 準備学習(予習・復習)

- 医療における物語が理解できるための題材となる、自身や家族、友人などの病気に関してどのようなストーリーが展開していたかを考えておく(1日あたり0.5時間)。〈11月25日授業のため〉
- これまでに見たり、聞いたり、体験したりした医療において、倫理的課題が潜んでいると考えられる事例を授業で提示できるよう、いくつかピックアップしておく(1日あたり0.5時間)。〈12月8日授業のため〉

7 授業計画

(1) 講義の方法

講義・個人ワーク・グループ討論・全体討論を組み合わせ、様々な考え方を皆が共有・議論できるようにする。

(2) 講義の内容

患者安全, 臨床倫理, 医療における物語の基本的概念。